

「第58回名古屋まつり」事業報告書

- 【開催日】 平成24年10月20日（土）、10月21日（日）12：00～20：30
- 【場所】 名古屋市中区栄 久屋大通り公園 エンゼル広場
- 【来場者数】 2日間計946,000人（H23：778,000人 前年比168,000人21.6%増）
- 【内容】 58回目の開催となる名古屋まつりは、「見て」「聴いて」「参加する」お祭り本来の楽しさを追求することを基本に、「歴史(伝統)文化の継承発展」「にぎわいと交流の創出」「名古屋発・情報発信」をテーマとして展開し、「元気都市名古屋」の一層の魅力向上と活性化を図るため開催されました。
- イベント会場は昨年同様5会場で、夫々コンセプト毎にゾーニングされ、本年度木曽地域はエンゼル広場会場「ご当地極めつき！大交流祭」での参加となりました。昨年に引き続き木曽地方事務所の木曽発信プロジェクト委員会に協力いただき、新そばや木曽産のりんご、ラ・フランスやシメジ、栽培キノコの特産品販売に加え、昨年からの検討課題となっていたおやきや栗おこわ、きのこご飯、餅などの加工食品の販売、なぎそねこなど新たな木曽地域の魅力の発信を図りました。両日とも非常に天気が良く好天に恵まれ、会場にはイベント開始前から多くの市民が訪れ大変な賑わいでした。今回新たな取り組みとして、木曽地域の魅力発信と特産品販売の促進を図るため、天然きのこ汁を1日100食限定で特産品購入者に振舞いましたが、両日とも1時間足らずで終了する程人気を博しました。また、加工食品は午後1時過ぎに、その他の特産品も午後5時頃には全て完売することができ、特産品販売を通じた木曽路の魅力発信はある程度効果が得られました。なぎそねこは今回初めて販売を試みましたが、TV番組で紹介された効果のためか皆さん良くご存じて、説明を聞いたり試着をしたり、中には2枚、3枚とまとめて購入される方も見えました。【売上：144,630円】
- 紅葉の季節を迎え季刊誌「木曽路」秋号やパンフレットも手に取ってご覧になる方も多く、場所の確認や道順を尋ねる方も多く見受けられ、一定の効果を得ることができました。



